

令和2年度 瑞雲こども園職員 自己評価表について

園の基本姿勢について（5項目）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

第1章 総則（47項目）

幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標等

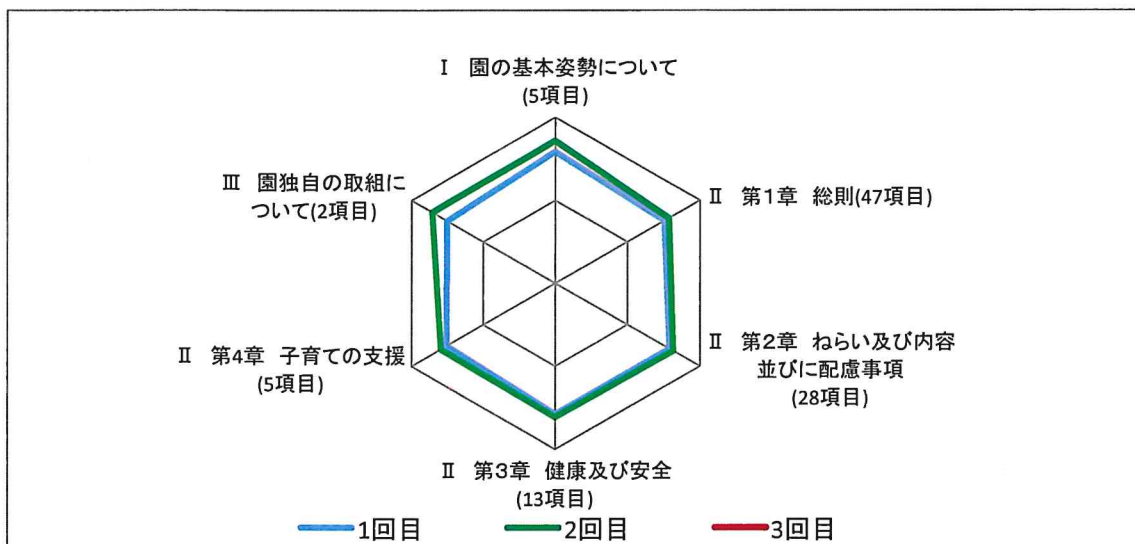
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項（28項目）

第3章 健康及び安全（13項目）

第4章 子育ての支援（5項目）

園独自の取り組みについて（2項目）

以上、100項目を自己評価し、今年度の反省をもとに次年度の改善内容を検討していきます。



今回の評価が低かった3項目についてお知らせします。

Q96「教育及び保育の活動に対する保護者の積極的な参加は、保護者、地域における家庭や住民の子育ての経験の継承につながるきっかけとなることから、保護者の参加を促すとともに、参加しやすいよう工夫している。

改善→今年度は、コロナ感染症拡大を懸念するという観点から、保護者参加の行事、大掃除のお手伝い中止、運動会は、運動披露の会としてさくら組の保護者のみの参加、と縮小された点から、評価が低かったと思われる。

Q97「自園がもつ地域性や専門性などを十分に考慮して、その地域において必要と認められるものを適切に実施している。

改善→地域における子育て家庭の保護者等に対する支援、という項目である。自園の子育て支援センター「カンガルー広場」は、コロナ感染症拡大を懸念しながらも、消毒の徹底、参加人数の制限を行い、開所できていた為、職員にその旨を発信、認識を深めるようにする。

Q99「園独自の教育・保育方針及び教育・保育体制（セカンドステップ、コモンセンス等）を把握している。

改善→「セカンドステップ」については、全職員、さくら組年長児のセカンドステップの時間に、直接関わりを持っている訳ではないが、園として取り組んでいる為、携わっている、という認識を持つことを、職員へ発信し続ける。

| | | | | | | | | | |
|------------------|--------|------|---|-------------|------|---|--------------------------------------|------|---|
| 全 体 評 価 | 園 長 | 北沢道子 |  | 副 園 長 | 梶浦邦康 |  | 保育 サー ビス 委員 会 責任 者 | 山田恭子 |  |
|------------------|--------|------|---|-------------|------|---|--------------------------------------|------|---|